

2022年度兵庫県立大学との 共同研究報告会を開催しました

2023年3月、兵庫県立大学国際商経学部有加納ゼミ、高階ゼミとひょうご仕事と生活センター（以下センター）の共同研究報告会を協力企業各社にて行いました。

本共同研究は2012年度から実施しており、毎年、選定した企業へのヒアリングを行い、ワーク・ライフ・バランス

（WLB）に関する研究テーマを設定して調査し、学生の新たな視点から課題の洗い出しや検討を行うことで、企業・団体のWLB推進支援につなげることを目的としています。

2022年度は3企業の協力を得て従業員へのアンケート調査を実施した上で、分析を行いました。



株式会社TAT（ネイル卸・小売業）【2014年度表彰企業】

従業員の平均年齢が33.9歳と若く自由な社風の株式会社TAT。高階ゼミの3チームがそれぞれテーマを設定して分析し、その結果、以下のことが明らかになりました。

- ・介護や子育て等の私生活情報をオープンにすることで、社内コミュニケーションが良好になる。
- ・仕事内容や進め方の自由度が高ければ、創意工夫や自発性が生まれて仕事の満足度が高くなる。
- ・テレワークを積極的に進めることで、移動時間削減、自由時間の増加によりWLBにポジティブな影響がある。また、心理的安全性が高く発言しやすい雰囲気があり、会社への愛着心が高い従業員が多い。



株式会社明和工務店（建設業）【2018年度宣言企業】

建物に関わる全ての仕事に対応できるよう、1社でカバーできる体制を整えている株式会社明和工務店。加納ゼミの2チームが担当し、分析を行い、その結果から以下のような提案がされました。

- ・事務部門と比べ工事部門では残業時間が多いため、残業の原因を個人面談等で把握し、対策を取ることが効果的。
- ・社員同士の助け合いをより活発化するために、「今週の〇〇さん」等、お互いを知る機会を増やすことが効果的。
- ・休暇を取りやすい環境づくりのために、先輩のノウハウ集や社内SNS等で見える化する。

報告会の参加者からは、「具体的に提案されたことを実践してみたい」という声を頂きました。



但南建設株式会社（建設業）【2021年度表彰企業】

先輩社員が相談役になるメンター制度を導入・実践している但南建設株式会社。加納ゼミの2チームが担当し、分析を行い、その結果から以下のような提案がされました。

- ・自身の人生や今後のキャリアに関心のある従業員が多かったため、将来的にどんな役割の仕事をしていきたいかを面談する「キャリアコンサルティング制度」を充実させる。
- ・仕事内容や進捗等の情報共有にやや課題が見られる。社長が「情報共有のためのアプリを導入したが活用が進んでいない」と話されたことから、うまく生かせるよう、まずは写真をアップする等、アプリを使うハードルを下げてデータを蓄積し、将来的に業務に役立ててはどうか。

報告会の参加者からは、「コミュニケーションが非常に良好であるとの調査結果が出ており、情報共有を活発にすることで、さらに活気のある組織にしたい」との声を頂きました。

まとめ

各社の調査結果から、WLBの取組を積極的に推進することが、企業・団体や職場にとってプラスの影響を与えることが分かりました。この報告結果は他の企業・団体においても参考となるものであり、今後のセンターでの支援に生かしていきます。